

「人・環境・未来 つながりのある社会を目指して」

特別シンポジウム



2009年4月24日(金)

9:00~17:00

場所 県民文化センター

(社)日本造園建設業協会

中国総支部

(社)日本造園建設業協会 中国総支部主催

「人・環境・未来 つながりのある社会を目指して」特別シンポジウム

はじめに

今、地球温暖化がすすみ、地球の危機が叫ばれています。

身近な話をあげると、日本トキは絶滅した。心が癒されるホタルの飛翔を見ることが少なくなった。

ユリの女王といわれるササユリや日本タンポポも減少し、絶滅するのではないかという話があります。

これらの多くの動植物の減少の原因は、人間にあるといわれています。私たちの世代は、自然環境を犠牲にして快適な生活をしています。二酸化炭素に代表される温室効果ガスが大量に大気中に放出され、地球温暖化が進んできました。大量生産、大量消費、大量破棄を続ければ廃棄物は収容できなくなり、資源は枯渇してしまいます。

自然環境の保全と再生を考え持続可能な社会づくりを目指す私たちは、ひとりひとり何ができるかを考えてみたいと思います。



日本トキ



ゲンジボタル



ササユリ



日本タンポポ

【企画書】

一部（9：00～12：10） 造園技術講習 入場無料

司会 高畑満夫

（社）日本造園建設業協会 山口県支部長

- (1) 開会の挨拶 (社)日本造園建設業協会中国総支部長 福島偉人
- (2) 今日のスケジュール内容の説明 9:05
- (3) 新技術紹介
- ① 「都市緑化における新しい試み」 9：10～10：00
イビデン・グリーンテック(株) 直木 哲 氏
- ② 「屋上空間の価値創造を目指して」 10：00～10：50
東邦レオ(株) 顧問 前田 正明 氏
- (4) 若手造園人「夢」を語る。 11：00～12：10
- ① 「今、取り組んでいる造園業の未来戦略」 11：00～11：20
（株）葉隠緑化建設 久保 和則 氏
- ② 「造園業はサービス業という展開戦略」 11：20～11：40
むつみ造園土木(株) 佐々木 創太 氏
- ③ 若手造園人三人を囲み、造園業界の夢を語り合う 11：40～12：10
広島県支部長 正本大氏，久保和則氏，佐々木創太氏
会場の人も討論へ参加してもらおう。

※ この会へ多くの若手造園人を集める努力をする。

二部 (13:30~16:45) 講演・シンポジウム

受付 13:00~

入場無料

司会 内山三郎

(株)日本造園建設業協会 岡山県支部長

- (1) 開会の挨拶 (株)日本造園建設業協会中国総支部長 福島偉人 13:30~
- (2) スケジュール内容の説明 13:35~
- (3) 基調講演 13:40~14:40

「環境革命の時代を支える生物多様性」

桐蔭横浜大学 教授 涌井 史郎氏



桐蔭横浜大学・医用工学部・特任教授。
中部大学・応用生物学部・教授。
東京農業大学客員教授。
2005年の日本国際博覧会「愛・地球博」では、会場演出
総合プロデューサーを務める。
ランドスケープ・アーキテクトとして人と自然の調和を
目指した空間計画に取り組む傍ら、環境省・生物多様性
国民広報・参画委員会・座長など政府や地方公共団体の委
員を務める。
黄綬褒章・日本造園学会賞などを受賞。

- (4) シンポジウム 14:50~16:45

「大切なのは自然から学び、次の時代を考えること」

座長 桐蔭横浜大学 教授 涌井 史郎氏

パネラー 国土交通省 中国地方整備局 企画部長 山中 義之氏

パネラー 中国新聞社 論説委員 石丸 賢 氏

パネラー 市民活動家 山本 恵由美 氏

パネラー 造園家 (株)下関植木 社長 藤本宣也 氏

パネラープロフィール

山中 義之 氏

昭和56年4月建設省入省
平成元年9月建設省四国地方建設局道路部道路計画第一課長
平成3年2月国連アジア・太平洋経済社会委員会(バンコク)派遣
平成6年2月建設省道路局企画課長補佐
平成6年6月建設省四国地方建設局松山工事事務所長
平成8年4月建設省四国地方建設局企画部企画調査官
平成10年4月北海道建設部道路計画課長
平成12年4月建設省建設経済局建設業課建設業技術企画官
平成13年1月国土交通省総合政策局建設業課建設業技術企画官
平成14年4月岡山県土木部長
平成17年1月国土交通省中国地方整備局道路部長
平成19年4月国土交通省中国地方整備局企画部長

石丸 賢 氏

1985(昭和60)年4月入社
～87年7月まで 本社報道部(遊軍、県警、市政)
～90年7月まで 岡山県・倉敷支局
～96年3月まで 本社報道部(県政、「亜細亜からアジア」取材班、遊軍、市政、教育のページ)
～2001年3月まで 島根県・川本支局
～06年7月まで 本社報道部(特報2001取材班、「都心のあした」取材班、「中国山地」取材班、「猪変」取材班、遊軍チーム、団塊のページ・くらしチーム
～08年7月まで 広島県・三原支局
08年8月から 本社論説委員会

山本 恵由美 氏

大学時代からボランティアに携わる。20代に単独で世界一周の清貧旅行に挑戦した後、農業体験交流塾や森林保全、行政職員と市民の学習会、公開討論会など多くの市民セクター団体を発足させて、さまざまな市民活動に関わり、まちづくりに取り組んでいる。森林保全や環境教育、ボランティアリーダーの育成を行なう『もりメイト倶楽部 Hiroshima』は平成9年に発起した。市街地の河岸緑地で行う自然楽習「京橋川かわいあしがらるクラブ」主宰。広島市初代の里山整備士に認定される。広島県環境保全アドバイザー、広島市環境サポーター。

藤本 宣也 氏

昭和44年大阪工業大学卒業
同 父が経営する(株)下関植木に入社
昭和46年 専務取締役就任
平成9年 代表取締役 就任
平成8年～平成16年 日本造園建設業協会 山口県支部の理事
平成10～平成20年 山口県造園建設業協会 理事
平成16年～平成20年 日本造園建設業協会 山口県支部長
平成14年～現在 協働組合 下関造園クラブ 理事長
一貫して造園業に携わる。

趣味 旅行 読書 PC
好きな本 司馬遼太郎の本(小説、エッセイ、対談集など)すべて 歴史物、自然関連の本 ニュートン

三部 (17:30～19:00)交流会

「環境と未来について語る集い」

会費 5000円

司会 正本 大

(株)日本造園建設業協会 広島県支部長)

尚、参加申込みは(社)日本造園建設業協会事務局までFAXにて(082-228-7633)

お問い合わせ先電話 082-211-3831